

指導と評価の計画

領域 球技（ネット型） テニス

年次〔入学年次の次の年次（3年次）〕

単元の目標	知識及び技能																			
	<p>次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。</p>																			
単元の目標	思考力、判断力、表現力等																			
	<p>生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p>																			
単元の目標	学びに向かう力、人間性等																			
	<p>球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。</p>																			
時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	授業づくりのポイント	
学習の流れ	0	健康観察 ・ 準備運動 ・ 本時の目標確認 ・ 内容等の確認																		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの資質・能力の内容をバランスよく配置する。 ・ 主体的な学習を行うことができるようにする。 ・ ICTを効果的に活用する。 ・ 多様な関わり方を体験できるようにする。 ・ 様々な違いに応じた課題や課題解決に向けた挑戦などを尊重できるようにする。
	10	オリエンテーション ・ラケットでボール遊び 協働学習 (2人1組) ・ ネットを挟まずにストローク練習 健康・安全の確認 ・ ネットを挟んでラリー練習 ・ サービス スキルチェック (ストローク・サービス・ラリー) チーム決め ○試しのシングルス戦 実態把握 (試しのゲーム) 競技会	【学び直し】 ICT 【グループ学習 ストローク・サーブ練習】 協働学習 ・ 素振り→正しいフォームでできているか確認 ・ 実際にボールを打つ姿をICTで撮影→確認 ・ グループで話し合い ・ 実際に打ってみる ボール操作 【ストローク練習・サーブ練習】 ・ ラリーの中で正しいフォームを意識し、打てるようにする。 ・ 仲間同士で撮影しながら、課題を発見し改善する。 【ストローク練習】 ○簡易ゲーム (シングルス) 特別ルール→コート縦半分、5点先取、サーブ交互に打つ ICT								【チームごとの練習】 協働学習 ・ ストローク、サービス、チームの課題に応じた練習など ICT ○リーグ戦Ⅰ (シングルス) ルール：コート縦半分、5点マッチ ○リーグ戦Ⅱ (シングルス) ルール：コート全面、5点マッチ ○リーグ戦Ⅲ (ダブルス) ルール：コート全面、8点マッチ チームごとにICTを活用し、試合中の動きを撮影する。撮影した動画を空いた時間に確認する。 チームで話し合い次時のチーム練習に活かす。 空いた時間を有効に使い動画を撮影したり、動画を分析したり、「する・みる・支える・知る」の部分で関わりを持たせる。 ICT									
	20																			
	30																			
	40																			
50	整理運動 ・ 本時のまとめ ・ 学習カードの記入 ・ 次時の課題など																			
評価機会	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	評価方法	
	知識				③											①				総括的な評価 ICT 観察、ICT 観察、ICT 観察
	技能		(①)			(②)	(③)				①		(④)		②		③	④		
	思・判・表										(①)	②		③		④	①			
態度	(①) (③)				(②)			②				①					③			
単元の評価規準	知識	①球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることについて、言ったり書き出したりしている。 ②課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 ③競技会で、ゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、言ったり書き出したりしている。																		
	技能	①ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 ②変化のあるサーブに対応して、面を合わせてレシーブすることができる。 ③ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ④ラリーの中で、相手の攻撃や味方の移動で生じる空間をカバーして、守備のバランスを維持する動きができる。																		
	思・判・表	①課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ②体力や技能の程度等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ③チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ④球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。																		
	態度	①球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ③一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。																		